

屋根瓦NPガード工法  
施工手順



①プライマー塗布(シーリング用)

②プライマー塗布(テープ用)

③特殊テープ貼り

④シーリング材充填(段差部)

⑤シーリング材充填(端末部)

⑥トップコート塗布(2回塗り)

屋根瓦NPガード工法  
使用材料

品名	適用	荷姿
瓦NPテーププライマー	下地調整材	2.8Kg 缶入り 6缶/箱
瓦NPテープ	特殊テープ	1セット(幅50mm、長さ20m×18巻)
瓦NPボンド	特殊テープの接着	330cc カートリッジ 3本/箱
瓦NPシールプライマー	下塗り材	500g 缶入り
瓦NPシール	シール材	333ml本 カートリッジ 10本/箱
瓦NPトップ	上塗り材	15kg 缶入り



※上記以外の材料を使用した場合は、共同保証の対象外です。

試験項目	方向	試験値
引張強さ(N/cm)	長手	69.7
	幅	48.1
伸び率(%)	長手	52.3
	幅	61.9
引裂強さ(N)	長手	18.0
	幅	23.8

	標準	試験値
H型引張り強さ(N/mm <sup>2</sup> )	1.18	
御影石×御影石	水浸漬	0.90
	熱劣化	1.31
伸び(%)	110	
耐候性	良好	
耐汚染性	良好	

密度(g/cm <sup>3</sup> )(23°C)	1.24(白)	
粘度(dPa・s)	30~50	
引火点	引火せず	
発火点	390°C(参考値)	
消防法	危険物区分	非危険物
	危険物等級	なし
毒劇物表示	非該当	

※試験は、JIS A 6013 に準拠

※上記の性能・特性の試験値は代表値です

■瓦飛散防止を追求する

屋根瓦ガード工法協会 **会員募集中**

〒113-0021  
東京都文京区本駒込 3-36-6 トーヨー科建株式会社内  
TEL 03-5809-0190 FAX 03-5809-0858  
MAIL info@kawara-guard.jp  
URL http://www.kawara-guard.jp



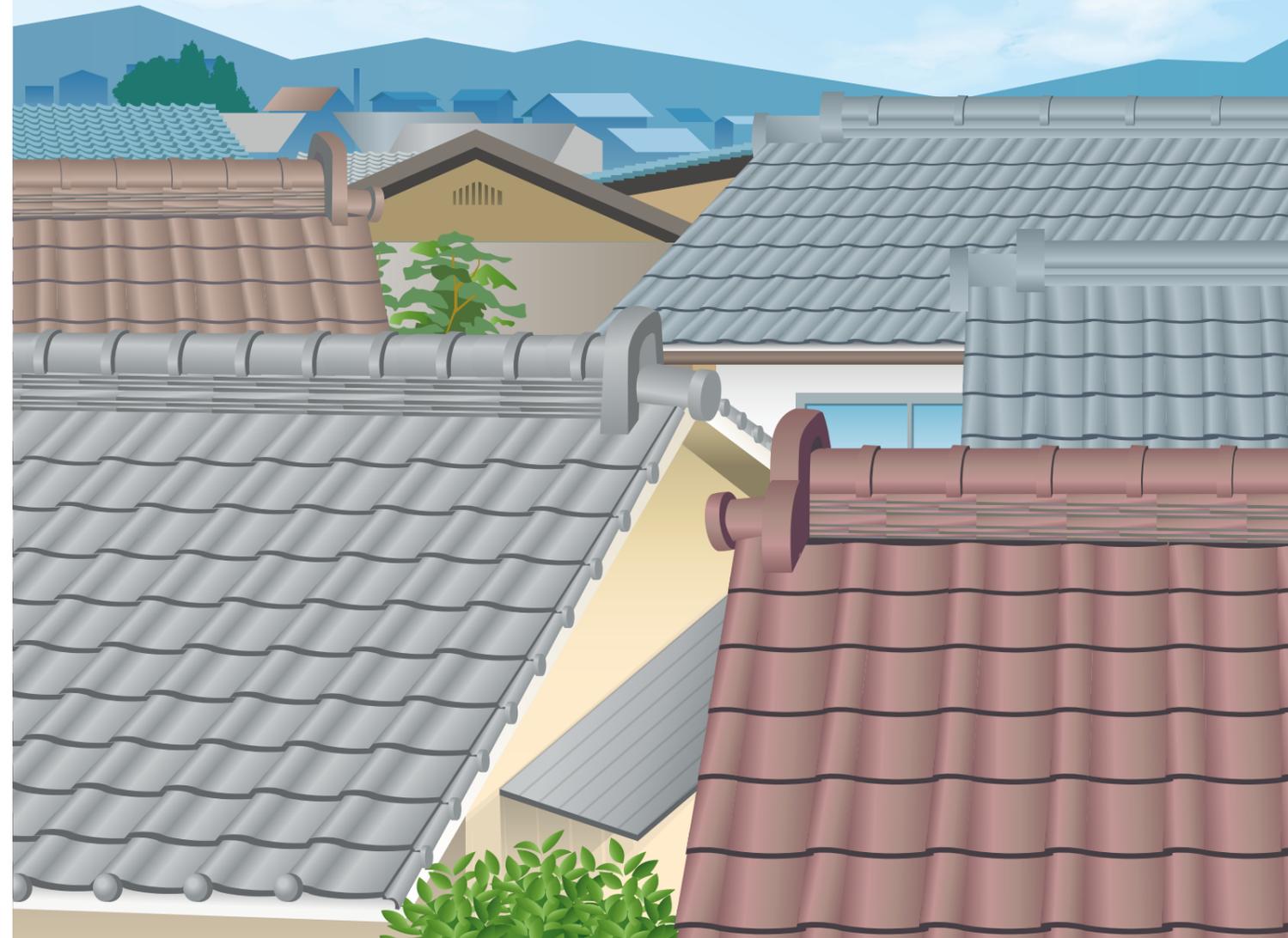
■施工店

瓦飛散・落下防止工法/安心の10年保証

# 屋根瓦

# NPガード工法<sup>®</sup>

特殊テープで瓦を補強。強風や地震でも瓦は飛散・落下しません。  
化粧スレート(コロニアル等)、波型スレートにも適用できます。



# 風速46m/秒、震度6弱の地震でも瓦の落下・飛散を防止 屋根瓦NPガード工法

近年の地球温暖化で台風は大型化。風速 40m/s を超えることも珍しくなく瓦屋根が落下・飛散する風災が多発しております。

平成 13 年(2001 年)にまとめられた瓦屋根標準設計・施工ガイドラインやガイドラインに準じ、全ての瓦を釘止めされた瓦は、基準風速 40m/s に耐えられますが、平成 13 年以前に施工された屋根瓦やガイドラインどおりに施工されていない瓦は、令和元年秋に発生した大型台風で大きな被害を受けております。このため、築 20 年以上の屋根瓦は、葺き替えすることが望まれてますが、費用等がネックとなかなか進んでいないのが実情です。そこで、誕生したのが低価格で既存瓦の補強ができる「屋根瓦 NP ガード工法」です。地震による瓦の落下も防止できます。

## 5 屋根瓦NPガード工法 つの特徴

### 特徴 1 風速 46m/s でも瓦は飛散しません。

沖縄の基準風速 46m/s でも屋根瓦ガード工法で補強した屋根平部の瓦は、十分耐えられることが三河窯業試験場の瓦風圧性能試験で実証されています。



瓦風圧試験の様相

### 特徴 2 地震による瓦の落下も防止できます。

引張り強度に優れた特殊テープで瓦を一体化するので震度 6 弱までは、瓦がズレ落ちることはありません。



耐震試験の様相

### 特徴 3 費用は葺き替えの 2 分の 1 程度です。

工事費の補助金制度を設けている自治体もあります。

屋根瓦ガード工法の工事費は、屋根瓦で葺き替えの 2 分の 1 以下です。また、工事費の 2 分の 1 を補助する自治体もあります。

### 特徴 4 共同保証が最長 10 年付きます。(屋根部分の現状復旧)

地震で家屋が倒半壊した場合は対象外です。

### 特徴 5 民法で定める、建物所有者の工作物の維持管理責任を果たせます。

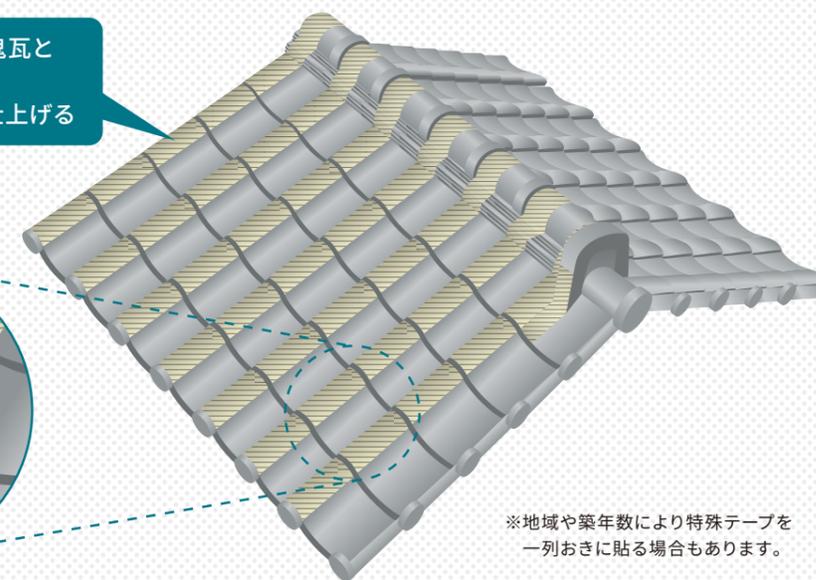
民法 717 条で、瓦が飛散した原因が不可抗力ではなく、維持管理の落ち度とみとめられた場合は、建物所有者に賠償責任が発生しますが、本工法を施工していれば、そうした心配は無用です。

## 標準仕様

- 1 特殊テープを、予めプライマーを塗布した屋根の棟部の冠瓦、鬼瓦、平部の瓦の棧山箇所に貼り付け、よく転圧します。
- 2 特殊テープの端末は、20mm 程度は貼りません。
- 3 特殊テープを貼った瓦の段差部分と端末部分をシーリングします。
- 4 瓦段差部へのシーリングは、テープの両サイドとテープをまたぐように行います。
- 5 特殊テープ部分は瓦と近似色のトップコートで仕上げます。

特殊テープを棟部の冠瓦、鬼瓦と平部の瓦の棧山に貼付け、トップコートで瓦と同色に仕上げる

瓦段差部は特殊テープをまたぎシーリングで補強



※地域や築年数により特殊テープを  
一列おきに貼る場合もあります。

化粧スレート(コロニアル等)、波型スレートにも適用できます。

## 工程

工程	材料名	使用量	使用工具等
1	プライマー塗布 (シーリング用)	瓦 NP シールプライマー 瓦段差部 3g/ヶ所 4ヶ所/m テープ端末部 1g/ヶ所	ハケ
2	プライマー塗布 (テープ用)	瓦 NP テーププライマー 0.012kg/m(幅 50~70mm)	ハケ ローラー
3	特殊テープ貼り	瓦 NP テープ 屋根棟部 冠瓦 鬼瓦 屋根平部 棧山部 全数	皮スキ 転圧ローラー
4	シーリング材充填	瓦 NP シール テープ段差部 15~20ml/ヶ所 4ヶ所/m 貼り始め、貼り仕舞部 10ml/ヶ所	シールガン 仕上バッカーベラ
5	トップコート塗布 (2回塗り)	瓦 NP トップ テープ部分 0.06~0.08kg/m(幅 70mm)	ハケ ローラー

(注) プライマーは必ずシーリング用プライマーを先に塗布します。